

令和3年度

飯島町水道事業会計並びに下水道事業会計  
決算審査意見書

飯島町監査委員

# 令和3年度飯島町水道事業会計並びに下水道事業会計決算審査意見書

## 第1 審査の対象

令和3年度飯島町水道事業会計並びに下水道事業会計

## 第2 審査の期日

令和4年6月23日

## 第3 審査の方法

町長から審査に付された決算財務諸表並びに決算報告書が、令和3年度における経営成績と財政状態を適正に表示しているかどうかについて、会計諸帳簿及び例月出納検査との照合などにより検証した。

また、年度内の事業全般について関係職員から説明を求め、公営企業の基本原則である公共の福祉増進と経済性発揮の観点から審査した。

## 第4 審査の結果

損益計算書、貸借対照表等の決算財務諸表、並びに決算報告書及びその他付属書類については、いずれの会計も計数に誤りなく適正に記帳されており、当会計年度における経営成績及び財政状態を正確に表示しているものと認められた。

また、現金預金、基金の管理についても適正に行われていることを確認した。

## 第5 総括的意見

昨年度は上下水道とも落雷による機器の故障や、5月の長雨による浄水場の取水停止、下水道への不明水流入等、職員が対応に苦慮する事例が多かったが、今年度は断水に至る大きな災害や事故などは無かった。年間を通じて積極的に水道の安定供給、下水道の維持管理に努めた担当職員の取り組みを評価する。

水道事業においては、町民人口の減少により給水人口、給水量も年々減少が続いているが、老朽管の布設替えを継続して積極的に行ってきたことにより、有収率は81.1%と前年度比+0.2%向上している。また、下水道事業では、つなぎ込み率は85.3%と前年度比0.6%増加したこと、下水道の普及状況も処理区域内人口に対する水洗化人口比率が82.7%と、上下水道とも良好な状態を確保している。

今後も水道管の漏水減少、安定供給のため、老朽化した水道管の布設替えに、より一層取り組まれない。また、下水道に関しても適切な施設の維持管理に取り組まれない。

当年度の純利益について、上水道は2,110万円と前年度より250万円の増となった。未処分利益剰余金も2億3,000万円となり、安定した経営状況である。下水道については純利益2,550万円と前年度より645万円の減だが、未処分利益剰余金は5,750万円となり、安定した経営状況が続いている。

しかし、浄水場の建て替えや、移動脱水車の更新等、上水道や下水道に関係する施設・設備等への投資や、加えて企業債の元利償還と多額の資金が必要となるが見込まれる。

また、水道事業に関しては、令和4年度より中川村への水道供給事業も開始されることから、これらも含めた計画的な財政運営が求められる。

最後に、引き続き良質な水道水の安定供給、良好な下水道施設の維持管理が行われることを期待する。

## 第6 水道事業会計決算の概要

### 1 業務実績

令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業務実績は次表のとおりである。

#### (1) 業務実績

区 分		令和2年度	令和3年度	対前年度	比較
		(B)	(A)	(A)－(B)	(A)/(B)
年度末行政区域人口	(人)	9,326	9,171	-155	98.3%
年度末給水人口	(人)	9,223	9,074	-149	98.4%
年度末給水件数	(件)	3,775	3,766	-9	99.8%
配水量	年間 (m <sup>3</sup> )	1,125,079	1,131,629	6,550	100.6%
	日平均 (m <sup>3</sup> )	3,082	3,100	18	100.6%
有収水量	年間 (m <sup>3</sup> )	909,839	918,047	8,208	100.9%
	日平均 (m <sup>3</sup> )	2,493	2,515	22	100.9%
1日最大配水量	(m <sup>3</sup> )	4,110	3,682	-428	89.6%
負荷率	(%)	75.0%	84.2%	9.2%	112.3%
有収率	(%)	80.9%	81.1%	0.2%	100.0%
1人1日最大配水量	(ℓ)	445.6	405.8	-39.9	91.1%
1人1日平均給水量	(ℓ)	270.3	277.2	6.9	102.6%

(注) 配水量 = 年間総配水量（浄水して配水した水量）

有収水量 = メーター器を通過して課金される水量

負荷率 = 配水量（日平均）÷ 1日最大配水量 × 100

有収率 = 有収水量（年間）÷ 配水量（年間）× 100

1人1日最大配水量 = 1日最大配水量 ÷ 給水人口

1人1日平均有収水量 = 有収水量（年間）÷ 日数（年間）÷ 給水人口

#### (2) 給水人口・有収水量の推移

項 目		H12年	H22年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	
年度末行政区域人口	人	11,182	10,190	9,577	9,446	9,308	9,326	9,171	
給水人口	人	10,992	9,947	9,463	9,332	9,198	9,223	9,074	
有収水量	m <sup>3</sup>	1,041,712	916,006	912,099	905,542	883,142	909,839	918,047	
内 訳	生活	m <sup>3</sup>	779,031	718,669	715,282	710,189	701,963	732,885	734,499
	営業	m <sup>3</sup>	122,464	124,451	125,233	125,256	117,541	113,280	113,288
	工場	m <sup>3</sup>	128,367	62,315	63,405	62,725	56,937	57,068	64,457
	その他	m <sup>3</sup>	11,850	10,571	8,179	7,372	6,701	6,606	5,803

当年度の業務実績をみると、令和4年3月31日現在の給水人口は9,074人であり、また、年間の配水量は1,131,629m<sup>3</sup>、有収水量は918,047m<sup>3</sup>である。

## 2 予算の執行状況 (決算報告書(消費税込み))

### (1) 収益的収入及び支出

予算執行状況は次表のとおりである。

#### 【収益的収入】

(単位：円・%)

項目	区分	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B) - (A)	収入率 (B)/(A)
営業収益		204,270,000	213,892,722	9,622,722	104.7%
営業外収益		21,559,000	24,185,818	2,626,818	112.2%
合 計		225,829,000	238,078,540	12,249,540	105.4%

予算額225,829千円に対し、決算額は238,079千円であり12,250千円の増となり、執行率は105.4%となっている。

営業収益の主なものは、給水収益(水道使用料)191,938千円(税抜き)である。

営業外収益の主なものは、長期前受金戻入19,642千円である。

#### 【収益的支出】

(単位：円・%)

項目	区分	予算額 (A)	決算額 (B)	不用額 (A) - (B)	支出率 (B) / (A)
営業費用		180,078,410	177,069,230	3,009,180	98.3%
営業外費用		35,197,000	34,595,852	601,148	98.3%
特別損失		1,000	0	1,000	0.0%
予備費		281,590	0	281,590	—
合 計		215,558,000	211,665,082	3,892,918	98.2%

予算額215,558千円に対し、決算額は211,665千円で、不用額は3,893千円であり、執行率は98.2%となっている。

営業費用の主なものは、減価償却費115,376千円、総係費29,799千円(税抜き)、配水及び給水費17,721千円(税抜き)である。

営業外費用の主なものは、企業債の支払利息23,593千円である。

### (2) 資本的収入及び支出

予算執行状況は次表のとおりである。

#### 【資本的収入】

(単位：円・%)

項目	区分	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B) - (A)	収入率 (B) / (A)
企業債		148,200,000	60,000,000	-88,200,000	40.5%
負担金		1,744,000	1,490,320	-253,680	85.5%
繰入金		0	0	0	0.0%
合 計		149,944,000	61,490,320	-88,453,680	41.0%

予算額149,944千円に対し、決算額は61,490千円であり88,454千円下回った。これは、難工事による設計変更を含む6工区等が令和4年度に繰り越されるためであり、執行率は41.0%となっている。

企業債は建設改良事業のための借入金60,000千円である。

## 【資本的支出】

(単位：円)

項目	区分	予算額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)- (C)
建設改良費		157,732,900	58,123,500	95,966,900	3,642,500
企業債償還金		119,961,000	119,960,389		611
合計		277,693,900	178,083,889	95,966,900	3,643,111

予算額277,694千円に対し、決算額は178,084千円で、翌年度繰越が95,967千円、不用額は3,643千円となり、執行率は64.1%となっている。

建設改良費の主なものは、上水道配水管布設替工事（本郷第一自治会 町道本郷幹線、高遠原自治会 町道高遠原旧道2号線・町道日向沢線、新屋敷自治会 町道針ヶ平横2号支1号線、荒田自治会 町道荒田線、本郷第四・第六自治会 町道与田切迂廻線）の6件、計38,000千円（税抜き）、山の田浄水場原水濁度計更新工事2,640千円（税抜き）、日曾利高区配水池管理棟落雷復旧工事1,910千円（税抜き）である。

企業債償還金は前年度より4,507千円増の119,960千円であった。

## 【資本的収支の不足額補てん内訳】

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額の補てん財源は次表のとおりである。

(単位：円)

区分	収入	支出	不足額	補填財源
決算額	61,490,320	178,083,889	116,593,569	過年度分損益勘定留保資金 111,355,069
				当年度分損益勘定留保資金 0
				当年度分消費税及び地方消費税 資本的収支調整額 5,238,500
				建設改良積立金 0

### 3 経営成績（損益計算書(消費税抜き)）

経営成績は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分	令和2年度	令和3年度	対前年度	比較
	(B)	(A)	(A) - (B)	(A) / (B)
総収益 a	213,299,554	218,597,355	5,297,801	102.5%
総費用 b	194,660,419	197,460,435	2,800,016	101.4%
差引損益 a-b	18,639,135	21,136,920	2,497,785	-
総収支比率 a/b	109.6%	110.7%	1.1%	-

総収益は218,597千円、総費用は197,460千円であり、差引収益は21,137千円の純利益を生じ、総収支比率は110.7%である。

なお、前年度繰越利益剰余金208,923千円に当年度純利益21,137千円を加えると、当年度未処分利益剰余金は230,060千円である。

経常収支比率の推移は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常収益 a	214,423,481	210,725,485	213,299,554	218,597,355
経常費用 b	193,319,823	188,043,796	194,660,419	197,460,435
差引経常収益(損益) a-b	21,103,658	22,681,689	18,639,135	21,136,920
経常収支比率 a/b	110.9%	112.1%	109.6%	110.7%

※ 経常収支比率とは、経常収益（営業収益＋営業外収益）と経常費用（営業費用＋営業外費用）を対比したものであり、経常的な収益と費用の関連を示すものである。

#### (1) 供給単価と給水原価の比較

有収水量 1 m<sup>3</sup>当りの供給単価と給水原価の推移は次表のとおりである。

(単位：円・m<sup>3</sup>)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
給水収益	190,295,908	186,138,434	190,115,681	191,937,824
年間総有収水量	905,542	883,142	909,839	918,047
供給単価 a	210.15	210.77	208.96	209.07
給水原価 b	191.24	189.83	192.05	192.85
比較 a-b	18.91	20.94	16.91	16.22

※ 供給単価＝給水収益÷年間総有収水量

給水原価＝(経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+付帯事業費))÷年間総有収(給水)量

供給単価は、前年度とほぼ横並びとなり、給水原価は前年度より80銭程度増加した。その結果、供給単価から給水原価を差し引いた額は16円22銭の黒字となっている。

(2) 収 益

収益は次表のとおりである。

(単位:円・%)

区分	令和2年度		令和3年度		対前年度 (A)-(B)	比較 (A)/(B)
	決算額 (B)	構成比	決算額 (A)	構成比		
営業収益	192,315,082	90.2%	194,618,150	89.0%	2,303,068	101.2%
給水収益	190,115,681	89.2%	191,937,824	87.8%	1,822,143	101.0%
受託工事収益	0	0.0%	441,000	0.2%	441,000	皆増
その他営業収益	2,199,401	1.0%	2,239,326	1.0%	39,925	101.8%
営業外収益	20,984,472	9.8%	23,979,205	11.0%	2,994,733	114.3%
加入金	1,575,000	0.7%	2,050,000	0.9%	475,000	130.2%
受取利息及び配当金	32,217	0.0%	9,739	0.0%	-22,478	30.2%
長期前受金戻入	19,304,595	9.1%	19,642,152	9.0%	337,557	101.7%
雑収益	72,660	0.0%	2,277,314	1.1%	2,204,654	3134.2%
合 計	213,299,554	100.0%	218,597,355	100.0%	5,297,801	102.5%

収益合計は218,597千円であり、前年度より5,298千円増加した。

① 営業収益

営業収益は、前年度より2,303千円（1.2%）増加した。これは、主に給水収益が1,822千円（1.0%）増加したことによるものである。

② 営業外収益

営業外収益は、前年度より2,995千円（14.3%）増加した。これは、主に雑収益が2,205千円（3034.2%）増加したことによるものである。

### (3) 費用

費用は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分	令和2年度		令和3年度		対前年度	比較
	決算額 (B)	構成比	決算額 (A)	構成比	(A)-(B)	(A)/(B)
営業費用	168,988,723	86.8%	173,867,883	88.1%	4,879,160	102.9%
原水及び浄水費	11,740,972	6.0%	10,140,669	5.2%	-1,600,303	86.4%
配水及び給水費	17,703,103	9.1%	17,721,092	9.0%	17,989	100.1%
受託工事費	0	0.0%	420,000	0.2%	420,000	皆増
総係費	27,276,359	14.0%	29,798,707	15.1%	2,522,348	109.2%
減価償却費	111,419,143	57.3%	115,376,303	58.4%	3,957,160	103.6%
資産減耗費	225,222	0.1%	55,180	0.0%	-170,042	24.5%
その他営業費用	623,924	0.3%	355,932	0.2%	-267,992	57.0%
営業外費用	25,671,696	13.2%	23,592,552	11.9%	-2,079,144	91.9%
支払利息	25,670,997	13.2%	23,592,552	11.9%	-2,078,445	91.9%
雑支出	699	0.0%	0	0.0%	-699	0.0%
合計	194,660,419	100.0%	197,460,435	100.0%	2,800,016	101.4%

費用合計は197,460千円であり、次の要素により前年度より2,800千円 (1.4%) 増加している。

#### ① 営業費用

営業費用は、前年度に比べ4,879千円 (2.9%) 増加している。これは、主に原水及び浄水費は1,600千円 (13.6%) 減となったものの、総係費が2,522千円 (9.2%) 減価償却費が3,957千円 (3.6%) 増加したことによるものである。

#### ② 営業外費用

営業外費用は、前年度より2,079千円 (8.1%) 減少している。これは、企業債の支払利息が2,078千円 (8.1%) 減少したことによるものである。

#### 4 財政状況（貸借対照表(消費税抜き)）

##### (1) 資産

令和4年3月31日現在の資産の状況は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分	令和2年度		令和3年度		対前年度 (A)-(B)	比較 (A)/(B)
	金額 (B)	構成比	金額 (A)	構成比		
固定資産	2,973,107,119	88.5%	2,910,560,636	88.0%	-62,546,483	97.9%
有形固定資産	2,971,247,119	88.4%	2,908,855,636	87.9%	-62,391,483	97.9%
土地	14,854,086	0.4%	14,854,086	0.4%	0	100.0%
建物	2,756,283	0.1%	2,606,823	0.1%	-149,460	94.6%
構築物	2,829,849,854	84.3%	2,772,001,492	83.8%	-57,848,362	98.0%
機械及び装置	116,510,591	3.4%	112,198,111	3.4%	-4,312,480	96.3%
車両及び運搬具	13,564	0.0%	13,564	0.0%	0	100.0%
工具器具及び備品	7,262,741	0.2%	7,181,560	0.2%	-81,181	98.9%
建設仮勘定	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無形固定資産	1,860,000	0.1%	1,705,000	0.1%	-155,000	91.7%
水利権	1,860,000	0.1%	1,705,000	0.1%	-155,000	91.7%
流動資産	384,616,651	11.5%	396,819,708	12.0%	12,203,057	103.2%
現金・預金	379,936,833	11.3%	384,765,152	11.6%	4,828,319	101.3%
未収金	3,143,171	0.1%	6,493,457	0.2%	3,350,286	206.6%
貯蔵品	1,536,647	0.1%	1,561,099	0.1%	24,452	101.6%
前払金	0	0.0%	4,000,000	0.1%	4,000,000	皆増
その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	3,357,723,770	100.0%	3,307,380,344	100.0%	-50,343,426	98.5%

資産合計は3,307,380千円であり、次の要素により前年度より50,343千円（1.5%）減少している。

##### ① 固定資産

固定資産は、前年度より62,546千円（2.1%）減少している。これは、主に有形固定資産の構築物が57,848千円（2.0%）、機械及び装置が4,312千円（3.7%）減少したことによるものである。

##### ② 流動資産

流動資産は、前年度より12,203千円（3.2%）増加している。これは、主に現金・預金が4,828千円（1.3%）未収金が3,350千円（106.6%）増加したことによるものである。

(a) 未収金

内訳は次表のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
営業未収金	2,718,762
給水収益（水道料金）未収金	2,646,932
その他営業未収金（開閉栓手数料他）	71,830
営業外未収金	2,706,000
未収加入金	605,000
その他営業外未収金	2,101,000
その他未収金	1,089,350
未収負担金	1,089,350
貸倒引当金	-20,655
合 計	6,493,457

(b) 貯蔵品

内訳は次表のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
材料（漏水修理材料等）	1,532,099
貯蔵量水器	29,000
合 計	1,561,099

## (2)負債・資本

令和4年3月31日現在の負債・資本の状況は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分	令和2年度		令和3年度		前年対比	比較
	金額 (B)	構成比	金額 (A)	構成比	(A)-(B)	(A)/(B)
負債	1,999,056,533	59.5%	1,927,576,187	58.3%	-71,480,346	96.4%
固定負債	1,391,018,913	41.4%	1,326,379,625	40.1%	-64,639,288	95.4%
企業債	1,391,018,913	41.4%	1,326,379,625	40.1%	-64,639,288	95.4%
建設改良等の財源	1,391,018,913	41.4%	1,326,379,625	40.1%	-64,639,288	95.4%
その他企業債	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
流動負債	124,332,110	3.7%	135,642,884	4.1%	11,310,774	109.1%
企業債	119,960,388	3.6%	124,639,287	3.7%	4,678,899	103.9%
建設改良等の財源	119,960,388	3.6%	124,639,287	3.7%	4,678,899	103.9%
未払金	2,614,659	0.1%	9,243,597	0.3%	6,628,938	353.5%
引当金	1,751,000	0.1%	1,760,000	0.1%	9,000	100.5%
賞与引当金	1,472,000	0.0%	1,476,000	0.1%	4,000	100.3%
法定福利費引当金	279,000	0.0%	284,000	0.0%	5,000	101.8%
その他流動負債	6,063	0.0%	0	0.0%	-6,063	皆減
繰延収益	483,705,510	14.4%	465,553,678	14.1%	-18,151,832	96.2%
長期前受金	483,705,510	14.4%	465,553,678	14.1%	-18,151,832	96.2%
工事負担金	105,766,593	3.1%	103,603,042	3.1%	-2,163,551	98.0%
補助金	21,022,951	0.6%	20,379,001	0.6%	-643,950	96.9%
他会計負担金	8,181,820	0.2%	7,982,999	0.3%	-198,821	97.6%
その他長期前受金	348,734,146	10.4%	333,588,636	10.1%	-15,145,510	95.7%
資本	1,358,667,237	40.5%	1,379,804,157	41.7%	21,136,920	101.6%
資本金	514,875,197	15.3%	514,875,197	15.6%	0	100.0%
剰余金	843,792,040	25.1%	864,928,960	26.1%	21,136,920	102.5%
資本剰余金	533,368,948	15.9%	533,368,948	16.1%	0	100.0%
その他資本剰余金	533,368,948	15.9%	533,368,948	16.1%	0	100.0%
利益剰余金	310,423,092	9.2%	331,560,012	10.0%	21,136,920	106.8%
減債積立金	11,000,000	0.3%	11,000,000	0.3%	0	100.0%
本取水施設管理 基金積立金	90,500,000	2.7%	90,500,000	2.7%	0	100.0%
当年度未処分 利益剰余金	208,923,092	6.2%	230,060,012	7.0%	21,136,920	110.1%
合計	3,357,723,770	100.0%	3,307,380,344	100.0%	-50,343,426	98.5%

負債・資本合計は3,307,380千円であり、前年度より50,343千円(1.5%)減少している。

① 負債

負債は、固定負債1,326,379千円、流動負債135,643千円、繰延収益465,554千円の合計1,927,576千円であり、流動負債中の未払金は次表のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
未払金	9,243,597
営業未払金（原水及び浄水費、配水及び給水費、総係費）	17,297
営業外未払金（消費税）	9,226,300
その他未払金	0
その他流動負債（預り金）	0

② 資本

資本は、資本金514,875千円、剰余金864,929千円の合計1,379,804千円である。

③ 実質流動比率及び資金不足比率

実質流動比率は、292.5%であり、極めて健全であるといえる。

資金不足比率はマイナスのため資金不足は生じていない。

(単位：円)

	令和2年度	令和3年度	備 考
実質流動比率	309.3%	292.5%	100%以上は良好
資金不足比率	—	—	数値はマイナスとなる

## 第7 下水道事業会計決算の概要

### 1 業務実績

令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業務実績は次表のとおりである。

#### (1) 業務実績

区 分		令和2年度	令和3年度	対前年度	比較
		(B)	(A)	(A) - (B)	(A) / (B)
汚泥処理件数	(件)	2,284	2,287	3	100.1%
流入汚水量	(m <sup>3</sup> )	606,749	596,632	-10,117	98.3%
汚泥脱水ケーキ発生量	(t)	510.33	470.11	-40.22	92.1%

#### (2) 下水道の普及状況

区 分	処理区・地区	処理区内人口 (A)	水洗化人口 (B)	流入戸数	水洗化率 (B/A)
公共下水道事業	飯島処理区	3,907人	3,164人	1,178戸	81.0%
	七久保処理区	1,359人	1,004人	453戸	73.9%
農業集落排水事業	七久保北部地区	912人	856人	316戸	93.9%
	田切南部地区	528人	481人	178戸	91.1%
	本郷東部地区	337人	318人	102戸	94.4%
合 計		7,043人	5,823人	2,227戸	82.7%

当年度の業務実績をみると、令和4年3月31日現在の水洗化人口は5,823人であり、流入戸数は2,227戸で、水洗化率は82.7%である。

### 2 予算の執行状況（決算報告書(消費税込み)）

#### (1) 収益的収入及び支出

予算執行状況は次表のとおりである。

#### 【収益的収入】

(単位：円・%)

区分 項目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B) - (A)	収入率 (B) / (A)
営業収益	312,917,000	324,255,322	11,338,322	103.6%
営業外収益	182,919,000	183,452,934	533,934	100.3%
特別利益	0	1,507,000	1,507,000	—
合 計	495,836,000	509,215,256	13,379,256	102.7%

予算額495,836千円に対し、決算額は509,215千円であり13,379千円上回り、執行率は102.7%となっている。

営業収益の主なものは、下水道使用料122,995千円（税抜き）である。

営業外収益の主なものは、長期前受金戻入104,254千円である。

【収益的支出】

（単位：円・％）

区分 項目	予算額 (A)	決算額 (B)	地方公営企業法第26 条第2項の規定による 繰越額 (C)	不用額 (A) - ((B)+(C))	支出率 (B) / (A)
営業費用	414,041,000	405,124,778	0	8,916,222	97.8%
営業外費用	86,353,000	79,027,207	0	7,325,793	91.5%
特別損失	0	0	0	0	—
予備費	3,780,000	0	0	3,780,000	—
合計	504,174,000	484,151,985	0	20,022,015	96.0%

予算額504,174千円に対し、決算額は484,152千円で、不用額は20,022千円であり、執行率は96.0%となっている。

営業費用の主なものは、減価償却費279,255千円、総係費22,432千円（税抜き）、処理場費90,140千円（税抜き）である。

営業外費用の主なものは、企業債の支払利息75,681千円である。

(2) 資本的収入及び支出

予算執行状況は次表のとおりである。

【資本的収入】

（単位：円・％）

区分 項目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B) - (A)	収入率 (B) / (A)
企業債	188,000,000	188,000,000	0	100.0%
出資金	44,000,000	44,000,000	0	100.0%
負担金	11,696,000	9,026,000	-2,670,000	77.2%
合計	243,696,000	241,026,000	-2,670,000	98.9%

予算額243,696千円に対し、決算額は241,026千円であり2,670千円下回り、執行率は98.9%となっている。

企業債は建設改良事業のための借入金188,000千円である。

【資本的支出】

(単位：円)

項目	区分	予算額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)
建設改良費		11,696,000	3,822,775	0	7,873,225
企業債償還金		406,948,000	406,946,981	0	1,019
合	計	418,644,000	410,769,756	0	7,874,244

予算額418,644千円に対し、決算額は410,770千円で、不用額は7,874千円となり、執行率は98.1%となっている。

建設改良費の主なものは、公共ます設置工事9件、3,475千円（税抜き）である。

企業債償還金は前年度より13,002千円減の406,947千円であった。

【資本的収支の不足額補てん内訳】

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額の補てん財源は次表のとおりである。

(単位：円)

区分	収入	支出	不足額	補填財源
決算額	241,026,000	410,769,756	169,743,756	過年度分損益勘定留保資金 169,396,231
				当年度分損益勘定留保資金 0
				当年度分消費税 資本的収支調整額 347,525

### 3 経営成績（損益計算書(消費税抜き)

経営成績は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分	令和2年度	令和3年度	対前年度	比較
	(B)	(A)	(A) - (B)	(A) / (B)
総収益 a	517,116,044	495,232,146	-21,883,898	95.8%
総費用 b	477,843,054	471,202,856	-6,640,198	98.6%
特別利益 c	0	1,507,000	1,507,000	皆増
特別損失 d	7,279,998	0	-7,279,998	皆減
差引損益 a+c-(b+d)	31,992,992	25,536,290	-6,456,702	-
総収支比率 (a+c)/(b+d)	106.6%	105.4%	-1.2%	-

総収益は495,232千円、総費用は471,203千円であり、特別利益1,507千円を加えた差引損益は25,536千円の純利益を生じ、総収支比率は105.4%である。

#### (1) 下水道使用料と汚泥処理量の比較

使用量1 m<sup>3</sup>当りの単価と処理原価の推移は次表のとおりである。

区分	令和2年度	令和3年度	比較	
			増減	比率
下水道使用料 (円) a	121,053,763	122,994,918	1,941,155	101.6%
汚泥処理件数	2,284件	2,287件	3	100.1%
年間総流入汚水量 (m <sup>3</sup> ) b	606,749	596,632	-10,117	98.3%
年間汚泥脱水ケーキ量 (t)	510.33	470.11	-40.22	92.1%
使用単価 a/b c	199.5円	206.1	6.64	103.3%
処理原価 d	617.6円	614.9	-2.70	99.6%

※ 使用単価 = 下水道使用料 ÷ 年間総流入汚水量

処理原価 = (経常費用 - (受託工事費 + 材料及び不用品売却原価 + 付帯事業費)) ÷ 年間総流入汚水量

① 営業収益（他会計負担金・その他営業収益）188,784千円を下水道使用料に加えた使用単価は522.6円となる。また、営業外収益（補助金・他会計補助金・その他営業外収益）を加えると使用単価は655.3円となり、差し引いた額は40円4銭の黒字となっている。

## (2) 収益

収益は次表のとおりである。

(単位:円・%)

区分	令和2年度		令和3年度		対前年度	比較
	決算額(B)	構成比	決算額(A)	構成比	(A)-(B)	(A)/(B)
営業収益	319,358,257	61.8%	311,779,123	62.8%	-7,579,134	97.6%
下水道使用料	121,053,763	23.4%	122,994,918	24.8%	1,941,155	101.6%
他会計負担金	197,403,000	38.2%	186,947,000	37.6%	-10,456,000	94.7%
その他営業収益	901,494	0.2%	1,837,205	0.4%	935,711	203.8%
営業外収益	197,757,787	38.2%	183,453,023	36.9%	-14,304,764	92.8%
補助金	11,000,000	2.1%	0	0.0%	-11,000,000	皆減
他会計補助金	83,603,000	16.2%	78,853,000	15.8%	-4,750,000	94.3%
長期前受金戻入	103,112,599	19.9%	104,253,634	21.0%	1,141,035	101.1%
その他営業外収益	42,188	0.0%	346,389	0.1%	304,201	821.1%
特別利益	0	0.0%	1,507,000	0.3%	1,507,000	皆増
その他特別利益	0	0.0%	1,507,000	0.3%	1,507,000	皆増
合計	517,116,044	100.0%	496,739,146	100.0%	-20,376,898	96.1%

収益合計は496,739千円である。

### ① 営業収益

営業収益は、下水道使用料が1,941千円(1.6%)増加したものの、他会計負担金が10,456千円(5.3%)減となったことにより、全体では7,579千円(2.4%)の減となった。

### ② 営業外収益

営業外収益は、主に長期前受金戻入である。

### ③ 特別利益

特別利益は、人事異動による賞与引当金戻入益と法定福利費引当金戻入益である。

(3) 費用

費用は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分	令和2年度		令和3年度		対前年度	比較
	決算額 (B)	構成比	決算額 (A)	構成比	(A)-(B)	(A)/(B)
営業費用	393,843,815	81.2%	395,499,958	83.9%	1,656,143	100.4%
管渠費	2,476,637	0.5%	3,672,723	0.8%	1,196,086	148.3%
処理場費	83,861,924	17.3%	90,140,246	19.1%	6,278,322	107.5%
総係費	30,232,953	6.2%	22,431,987	4.7%	-7,800,966	74.2%
減価償却費	277,272,301	57.2%	279,255,002	59.3%	1,982,701	100.7%
営業外費用	83,999,239	17.3%	75,702,898	16.1%	-8,296,341	90.1%
支払利息	82,999,238	17.1%	75,680,507	16.1%	-7,318,731	91.2%
その他営業外費用	1,000,001	0.2%	22,391	0.0%	-977,610	2.2%
特別損失	7,279,998	1.5%	0	0.0%	-7,279,998	皆減
その他特別損失	7,279,998	1.5%	0	0.0%	-7,279,998	皆減
合計	485,123,052	100.0%	471,202,856	100.0%	-13,920,196	97.1%

費用合計は471,203千円である。

② 営業費用

営業費用は、主に減価償却費が占めている。

② 営業外費用

営業外費用は、主に企業債の支払利息である。

#### 4 財政状況（貸借対照表(消費税抜き)）

##### (1) 資産

令和4年3月31日現在の資産の状況は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分	令和2年度		令和3年度		対前年度	比較
	金額 (B)	構成比	金額 (A)	構成比	(A)-(B)	(A)/(B)
固定資産	7,664,398,118	98.4%	7,388,618,366	98.0%	-275,779,752	96.4%
有形固定資産	7,664,398,118	98.4%	7,388,618,366	98.0%	-275,779,752	96.4%
土地	222,946,483	2.8%	222,946,483	3.0%	0	100.0%
建物	410,165,601	5.3%	398,411,527	5.3%	-11,754,074	97.1%
構築物	6,721,738,949	86.3%	6,532,844,645	86.6%	-188,894,304	97.2%
機械及び装置	302,968,286	3.9%	228,215,065	3.0%	-74,753,221	75.3%
車両及び運搬具	6,115,750	0.1%	5,810,375	0.1%	-305,375	95.0%
工具器具及び備品	463,049	0.0%	390,271	0.0%	-72,778	84.3%
流動資産	124,977,267	1.6%	154,078,416	2.0%	29,101,149	123.3%
現金・預金	102,279,136	1.3%	152,222,400	2.0%	49,943,264	148.8%
未収金	22,698,131	0.3%	1,856,016	0.0%	-20,842,115	8.2%
貯蔵品	0	0.0%	0	0.0%	0	—
前払金	0	0.0%	0	0.0%	0	—
その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	—
合計	7,789,375,385	100.0%	7,542,696,782	100.0%	-246,678,603	96.8%

資産合計は7,542,697千円である。

##### ③ 固定資産

固定資産全体は、7,388,618千円であり、主に有形固定資産の構築物が6,532,845千円、建物が398,412千円である。

##### ④ 流動資産

流動資産全体は、154,078千円であり、現金・預金と未収金である。

(a) 未収金

内訳は次表のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
営業未収金	1,884,016
未収下水道使用料	1,884,016
営業外未収金	0
未収補助金	0
未収消費税及び地方消費税	0
その他未収金	82,000
未収受益者負担金	82,000
合 計	1,966,016

## (2)負債・資本

令和4年3月31日現在の負債・資本の状況は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分	令和2年度		令和3年度		前年対比	比較
	金額 (B)	構成比	金額 (A)	構成比	(A)-(B)	(A)/(B)
負債	7,579,598,979	97.3%	7,263,384,086	96.3%	-316,214,893	95.8%
固定負債	4,464,396,771	57.3%	4,228,023,482	56.1%	-236,373,289	94.7%
企業債	4,464,396,771	57.3%	4,228,023,482	56.1%	-236,373,289	94.7%
建設改良等の財源	4,464,396,771	57.3%	4,228,023,482	56.1%	-236,373,289	94.7%
流動負債	417,228,692	5.4%	433,435,266	5.7%	16,206,574	103.9%
企業債	406,946,981	5.3%	424,373,289	5.6%	17,426,308	104.3%
建設改良等の財源	406,946,981	5.3%	424,373,289	5.6%	17,426,308	104.3%
未払金	8,462,011	0.1%	8,255,644	0.1%	-206,367	97.6%
引当金	1,812,000	0.0%	796,000	0.0%	-1,016,000	43.9%
賞与引当金	1,539,000	0.0%	669,000	0.0%	-870,000	43.5%
法定福利費引当金	273,000	0.0%	127,000	0.0%	-146,000	46.5%
その他流動負債	7,700	0.0%	10,333	0.0%	2,633	134.2%
繰延収益	2,697,973,516	34.6%	2,601,925,338	34.5%	-96,048,178	96.4%
長期前受金	2,697,973,516	34.6%	2,601,925,338	34.5%	-96,048,178	96.4%
補助金	2,053,282,453	26.4%	1,966,123,132	26.1%	-87,159,321	95.8%
受益者負担金	640,280,289	8.2%	626,661,226	8.3%	-13,619,063	97.9%
建設仮勘定長期前受金	4,410,774	0.1%	9,140,980	0.1%	4,730,206	207.2%
資本	209,776,406	2.7%	279,312,696	3.7%	69,536,290	133.1%
資本金	90,761,158	1.2%	134,761,158	1.8%	44,000,000	148.5%
剰余金	119,015,248	1.5%	144,551,538	1.9%	25,536,290	121.5%
資本剰余金	87,022,256	1.1%	87,022,256	1.1%	0	100.0%
補助金	87,022,256	1.1%	87,022,256	1.1%	0	100.0%
利益剰余金	31,992,992	0.4%	57,529,282	0.8%	25,536,290	179.8%
当年度未処分利益剰余金	31,992,992	0.4%	57,529,282	0.8%	25,536,290	179.8%
合計	7,789,375,385	100.0%	7,542,696,782	100.0%	-246,678,603	96.8%

③ 負債

負債は、固定負債4,228,024千円、流動負債433,435千円、繰延収益2,601,925千円の合計7,263,384千円であり、流動負債中の未払金は次表のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
未払金	8,255,644
営業未払金（未払処理場費）	5,378,321
営業未払金（未払総係費）	16,223
その他未払金	0
営業外未払金（未払消費税及び地方消費税）	2,861,100

④ 資本

資本は、資本金134,761千円、剰余金144,552千円の合計279,313千円である。

③ 実質流動比率及び資金不足比率

実質流動比率は、35.5%であり、健全とはいえない。

建設改良費企業債が多いことが流動比率が低い原因となっている。

(単位：円)

	令和2年度	令和3年度	備 考
実質流動比率	30.0%	35.5%	100%以上は良好
資金不足比率	—	—	数値はマイナスとなる